



宮司プレス 七十五号

彦島八幡宮 宮司 ニュース
発行者 彦島八幡宮
宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十四年八月二十五日

◇宮司の柴田です。

家の宗旨(しゅうし)が、神道の方、神道家(しんとうけ)あるいは、神徒(しんと)と申しますが、この八月の時期に、御先祖様の霊祭(みたままつり)、中元祭(ちゅうげんさい)を行っています。御自宅や当宮の祖霊舎(それいしゃ)にて執行させて頂きました。その中元祭の祭詞(さいし)の中に、「残暑独(のこのあつさ) 厳(ごご)しき中に」と奏上しております、立秋とは、名ばかりで、残暑厳しき毎日がつづいています。それでも、いくぶん、朝夕がしのぎやすくなりましたし、蟬(せみ)のぬけがら(空蟬(うつせみ)といいます)をよくみかけるようになりまして、夏の終わりの秋の気配を感じる昨今です。しかしながら、どうやら、九月の半ばまで例年より暑い日が続きそうです。

◇先の大戦の終結した六十七年前の八月十五日も、かなり暑い一日だったそうです。八月十五日が、この終戦記念日であることは、日本人にとって僥倖(ぎょうこう、思いもかけない幸せ、幸運のこと)なことだと思いません。な

ぜならば、国民のほとんどの人が、自分が生まれ育った故郷にて、この日を迎えるからです。軍人、民間人を含め三百万人の尊い命が失われたのであります。戦場(いくさば)に倒れた御英霊(えいれい)は、「必ずやこの無念の思いを引き継いでくれる」と信じていらつしやったのです。マニラで戦死された陸軍中尉は、辞世(じせい)に、

「国のため 命ささげし ますらおの
至誠(しせい)を継げや 一億の民」
とあります。

日本人は、不可避(ふかひ)なる人としての運命(さだめ)である「死」の悲しみ、無念の思いで人生を閉ざされた人の果たせなかつた願いを、和歌や詩に託して、後世に伝えてきました。生き残った、生かされているわれわれが、そのすべてを引き受ける、伝えていく、崇高(すうこう)なる文化であるのです。その文化を継承する日が、御先祖様に感謝し、一家そろってお墓詣りをする「お盆」であることが、日本人にとって僥倖(ぎょうこう)であると思われてならないのです。平和を、戦争と

戦争の間の「戦間期(せんかんき)」、休戦(きゆうせん)にしてはならないと思えます。戦争を知らない世代がほとんどになってきました。その文化継承の担い手になり、「戦間期」にさせてはならないという思いを強くしています。

◇ラフカディオ・ハーン(小泉 八雲)は、日本の家族について、「まず両親があり、両親の血族がある、そのほかに、祖父母とその血縁者、曾祖父母その血すじのもの、その背後には、すでに死んだ人たちがざらりと控えている」と書かれています。さらに、それに比して、一世紀少し前の西洋の家族は、「ほとんど崩壊して、家族といえ、夫と妻、それに丁年(成人に達するねんれいのこと)に達していない子供たち、まずこんな程度である」と嘆いていらつしやいます。日本は今、十九世紀の西洋並みになってしまったのです。日本の家族復活の第一歩はですね、祖先を思い出すことから、「御先祖様に守られている」という感謝の気持ちを取り戻すことが大切ではないでしょうか。そして、さらに、三百万人もの尊い命にも守られている、御英霊に感謝するということが、日本の大家族の観念、国家危急(こっかきききゆう)の場合、国民全体が一大家族になるという伝統の力を取り戻す事につながるのではないのでしょうか。御自愛を祈ります。

◇七月、八月の祭典行事報告(予定も含む)

▼月次祭

*七月一日、十五日

▼月次祭 *七月一日、十五日

▼六連島七社祭 *七月九日

▼福浦金刀比羅宮月次祭 *七月十日

▼竹の子島天満宮例祭 *七月十五日

▼朝粥会 *七月二十一日

▼夏越祭

◆本宮 前夜祭 七月二十九日



◆田の首八幡宮 七月二十四日

◆六連島八幡宮 七月二十五日

▼月次祭 *八月一日、十五日

▼第七回まほろば学級 *八月五日



▼神道家(しんとうけ)中元(ちゅうげん)祭

*八月七日、八月十四日

▼朝粥会 *八月二十一日

▼新しい歴史教科書をつくる会山口県支部参拝

*八月二十三日



◇八月の宮司の行事会議等活動予定(報告も含む)

▼八幡宮関係団体

◇行事委員会夏季慰労会 *八月三日

◇維蘇志会八月例会 *八月四日

◇神道会常任委員会 *八月二十九日

◇秋季例大祭企画室会議

*八月三十一日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◇支部三役会 *八月一日

◇神社庁役員会教化教学担当者打合せ

*八月十七日

◇神社庁役員会 *八月二十五日

◇支部夏季総会 *八月二十七日

◇中国地区教化会議(山口引受)

*八月二十九日

▼神職養成講習会関係

(直階講習の神社神道概説の科目担当)

◇講義 *八月 四日、八日、十日

八月十八日、十九日

◇成績判定会議、記念撮影、謝恩会

*八月二十四日



◇閉講式 *八月二十五日

▼西ローターリークラブ

◇例会 *八月二十一日、二十九日

◇拡大委員会 *八月十日

◇メーキャンブ *八月二日、十三日

▼教誨活動(美祢社会復帰促進センター)

◇集合教誨(男子) *八月六日

◇刑務執行前(新入時)講話 *八月二十二日

▼人権擁護委員活動

◇第一次研修(山口県) *八月七日

▼講演活動

◇下関市倫理法人会モーニングセミナー *八月二十二日

◇新しい歴史教科書をつくる会 *八月二十三日

▼その他

◇迫町自治会若宮祭打合せ *八月一日

◇彦島消防団第六部機庫点検 *八月二十日

◇下関中央準倫理法人会モーニングセミナー *八月二十三日、三十日